

岩手大学 農学部 動物科学・水産科学科 水産システム学コース
准教授 募集要項

本学科では、下記募集要項により准教授1名を広く公募します。選考は本学の定める手続きにより行います。

1. 職種・人員： 准教授 1名

2. 所属

農学部 動物科学・水産科学科 水産システム学コース、大学院総合科学研究科（修士課程）地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム、三陸水産研究センター（兼務）に所属の予定です。

3. 担当教育研究専門分野：水圏生産科学または水圏生命科学関連（水産育種学・水産飼料学・水産増養殖学など）

主な担当予定科目

学 部：水産増殖学Ⅱ、地域水産業実習、水産生命科学特別講義、水産科学入門（分担）、動物科学・水産科学科概論（分担）、水産科学実験Ⅱ（分担）、海洋実習Ⅱ（分担）、卒業研究とご自身の専門分野に関する講義科目ほか

大学院：水産システム学特論・演習（分担）とご自身の専門分野に関する特論および演習ほか

その他：教養教育科目・学部専門基礎科目の一部（分担）ほか

※教養教育等の全学実施体制を図るため、採用分野を踏まえ、

「教養教育科目」又は「専門基礎科目」から1科目以上を必ず担当していただきます。

農学の総合知演習（分担）

さらに、多様化する学びのニーズに応えるとともに、多様かつ高度なメディア活用を図るため、教養教育科目の学問知科目（学問知として、応募者の研究専門分野について、所属する学部以外の低年次学生にも理解できる難易度の講義科目を想定）を担当いただく場合には、遠隔授業用オンデマンドコンテンツの作成及び動画シラバス（概要紹介）を必ず作成していただきます。遠隔授業用オンデマンドコンテンツは、1単位（1回100分全7回）×2科目（2単位分）以上、又は2単位（1回100分全14回）×1科目（2単位）以上）分の授業内容です。

4. 応募資格

- (1) 博士（またはPh. D.）の学位を有する方
- (2) 本学釜石キャンパスを拠点として、北日本（特に三陸地域）における養殖業の発展に寄与する教育・研究を展開でき、地域の関連事業者・団体等との連携を通して地域水産業振興に貢献できる方。地域水産業界からの要請が高い生物種（海藻類、貝類、サケ・マス類など）を対象に研究できる方が望ましい。
- (3) (2) を実現するためにふさわしい教育・研究業績を有し、今後当該分野において新規性・独創性を持つ研究を展開できること。特に、地域に果たす本学の役割を踏まえ、地域貢献の実績を有する方が望ましい。
- (4) 本学の教員として、同僚教員と協調して農学部、大学院地域創生専攻ならびに三陸水産研究センターの運営に積極的に参画できる意欲と能力を有する方。異分野間連携にも積極的な方が望ましい。
- (5) 国内外の大学との教育交流・連携活動に参画する意欲と能力を有する方。

5. 任用予定日：令和7年4月1日

6. 提出書類

- ・ 以下の(1)～(7)までの書類をPDFファイルとして、下記提出先までメール添付にてお送りください。
- ・ 添付ファイルのサイズが20MBを超える場合には、2通以上の電子メールに分割して送信して下さい。
- ・ 電子メールの件名（Subject）を「動物科学・水産科学科准教授応募書類（応募者氏名）」とし、件名（Subject）内に応募者の氏名を明記して下さい。
- ・ 応募書類の受領後3日以内（土日祝日などを除く）に受領通知を返信します。受領通知が届かない場合には、下記の間合せ先にお問い合わせ下さい。
- ・ 応募に関する個人情報、選考以外の目的には一切使用しません。
- ・ 選考過程において必要と認めた場合、後日、追加資料の提出をお願いする場合があります。

- (1) 履歴書1通（写真貼付、様式は任意）
- (2) 研究業績目録1部（別紙作成要領を参照）
- (3) 主要論文PDFファイル5編以内とその和文概要（各300字以内；当該分野における意義など）
- (4) これまでの研究概要及び教育・社会実践の経験（A4用紙1枚1500字程度）
- (5) 今後の教育・研究・社会貢献に対する抱負（A4用紙1枚1500字程度）
- (6) 科学研究費補助金や共同研究、受託研究など外部資金獲得状況の一覧

(7) 本人の研究・教育業績、人物像などについて照会できる方（2名程度）の連絡先（所属、住所、電話番号、E-mail）と推薦状（1通）

7. 公募締切日：令和6年11月22日（金）17時（必着）

8. 応募書類提出先及び問い合わせ先

〒026-0001 釜石市平田3-75-1

岩手大学 三陸水産研究センター

下瀬 環

電話：0193-55-5791

e-mail: shimose "at" iwate-u.ac.jp ("at"を@に置換してください)

9. 選考方法

書類選考の後、研究紹介（英語；発表・質疑各20分程度）および面接（日本語；30分程度）を実施して最終選考を行います。対面にて面接を実施する場合の旅費等は応募者負担となります。なお、状況に応じて面接をWeb形式で行うこともあります。

10. その他

(1) 本学農学部は令和7年度に改組を予定しており、水産システム学コースは食料生産環境学科から動物科学・水産科学科に移行予定です。コースの概要については、農学部ホームページ (<https://www.agr.iwate-u.ac.jp/>) をご覧ください。

(2) 岩手大学はダイバーシティを推進しており、多様な研究者の増加・定着のため、本公募に関し以下の取組を実施しています。

【女性教員採用促進に関する取組】

- ・女性の優先採用（業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合）
- ・最大100万円の定着支援経費（研究費）の支給
本学に赴任する女性教授・准教授に対し、研究費として50万円×2年間支給
- ・産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合には、選考の過程で考慮（性別不問。ただし、履歴書に取得期間を明記すること）
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する各種支援：
<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/wlb/>
両住まい手当制度、次世代育成支援（出産・育児との両立支援）・介護支援、学内保育所、学内保育スペース等
- ・女性研究者のキャリア支援：
<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/womenresearchers/>

研究支援員・補助員配置制度、女性活躍変形バイアウト制度、女性研究者グローバルキャリア支援海外派遣制度等

※文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」を活用した支援を随時実施予定：

<https://iwatewomensleadership.iwate-u.ac.jp/>